

臭気選別競技の部

(下線部変更)

科目構成

- 1 原則として臭気選別を4回行なうが、最初から連続して3回成功したときは、4回目を省略する。
- 2 原臭白布、物品白布ともに、布片、縦約20cm、横約10cmとする(全作業共通)。
- 3 臭気は、原則として靴下又は肌着類からの移行臭とする。
- 4 臭気の移行時間は、1時間～5時間とし、数日前に施行する。
- 5 原臭は、出場者との分離性を確保する。
- 6 原臭白布、物品白布は、袋及び段ボール箱で密閉して保管をする。
- 7 移行臭の作成は、一つの袋で行う。
- 8 選別台は、高さ約16.5cm、幅約21cm、長さ約91cmを2台並べて1台(長さ約182cm)として使用する(全作業共通)。
- 9 一体化した選別台の穴の位置は、左隅から10cm、40cm、40cm、40cm、40cm、10cmとする(10%の誤差は認める。従来の選別台は使用可)。
- 10 選別台と選別台の距離は、7～15mとする(距離は会場責任者と審査員で協議する。)
- 11 選別台上に設置する物品白布は、原臭、対象臭及び誘惑臭の白布ともに、あらかじめ臭気を付着させ、各々ポリ袋に保存し、係員の臭気が付着しないようピンセット等を使用して設置する。白布の臭気付着程度は、原臭、対象臭及び誘惑臭ともに同程度とする(毎回同一者臭とは限らない。)
- 12 設置した選別台より約3m手前(3mライン)と10m手前(スタートライン)に白線か紐等で横線を張る。
- 13 ルーレットは、内部が回転式になっているバケツを使用する。審査員がルーレットを回転させる。
- 14 原臭白布は、係員のピンセットにより直接受け取る(全作業共通)。
- 15 犬に原臭白布を嗅がせ、前方約10mの選別台の上に軽く差し込んだ1個の対象臭白布と4個の誘惑臭白布の計5個の中から原臭白布と同一臭気の対象臭白布を選別持来させる。
- 16 競技中の排便及び排尿については、その時点で中止とする。ただし中止以前の得点は付与する。
- 17 競技中に犬が別の選別台にいった場合、その時点で中止とする。ただし中止以前の得点は付与する。
- 18 選別台の左右の端よりも約7mを越えた場合、その時点で中止とする。ただし中止以前の得点は付与する。
- 19 境界線(前後左右)を越えた場合、その時点で中止とする。ただし中止以前の得点は付与する。

実施要領

(1回戦)(この得点が臭気選別競技の成績となる。)

- 1 作業タイムは1分間。指導手が係員より原臭白布を受け取ってから、犬の四肢がスタートラインを越えた時点までとする。
- 2 指導手は、審査員の指示により、所定の位置(出発地点)に立ち、犬と共に背面停座待機する(全作業共通)。指示により、選別台方向に向き、係員より直接原臭の白布を受け取り、犬に嗅がせ「捜せ」、「持って来い」等の命令で出発させ、犬が物品白布をくわえ持来したら、指導手は犬を対面停座又は直接停座させて物品白布を受け取ることが原則であるが、犬の四肢がスタートラインを越え、かつ、物品白布もスタートラインを越えた位置に犬が物品白布を落とした場合は、雨、風、その他の条件により審査員の指示で指導手が拾うことができる。
- 3 犬が物品白布をくわえ、選別台から四肢が3mラインを完全に越えたならば招呼してもよい。スタートラインと3mラインの間での招呼は任意であるが、犬が逸走したときは、招呼しなければならない。この場合、2回までの招呼に応じないときは、その回の作業は中止(失敗)とする。
- 4 選別台から3mライン内は、犬の自主的なくわえ直しは自由とする。ただし、犬が選別台と3mライン内にいるとき(3mライン内に四肢全てが入ってから、四肢が完全に出るまでの間)は一切の声符、視符等は禁止する。もしそれらの行為があったと認められたときは、選別作業の結果に関係なく、その回の作業は、不成功(失敗)とする。
- 5 犬の四肢が選別台から3mラインを完全に越え、再び四肢が完全に3mライン内に進入したときは、その回の作業を中止(失敗)とする。

- 6 犬が物品白布をくわえ選別台（側）から3mラインを四肢が完全に越え、スタートラインとの間に物品白布を落とし持来せず四肢が完全にスタートラインを越えたときは、不成功（失敗）とする。
- 7 犬の位置が3mライン内、物品白布の位置（落とした位置）が3mライン外の場合の審査判断は、犬の四肢の位置には関係なく布を落とした位置を基準とする。物品白布の位置が3mライン上（接している。）の場合は、3mライン内扱いとする。
- 8 ゼロ回答の場合は、5枚の物品白布全てを確実に嗅ぐこと。嗅ぎ分ける動作（意思）が見受けられず、指導手の元へ戻った場合は、不正解とする。
- 9 従来の有回答における不持来は△であったが不正解とする。
- 10 1回戦のみ、再スタートを各回につき1回認める（最大4回）。再スタートをした場合、各1点の減点とする（最大4点）。2回戦以降の再スタートは認めない。
- 11 対面停座及び直接停座の際「過度な体当たり」、「過度な飛びつき」、「犬が物品白布を放さない」等の状況によって1点減点とする。

Ch決定戦選出作業

科目構成

犬に原臭白布を嗅がせ、前方約10mの選別台の上に軽く差し込んだ1個の対象臭物品白布と4個の誘惑臭物品白布計5個の中から原臭白布と同一臭気の対象臭物品白布を選別持来させる（ただし対象臭物品白布の無いゼロ回答を行なう事を原則とする。）。

- 臭気は、原則として靴下又は肌着類からの移行臭とするが、移行時間、施行日は不規則とする。

実施要領

臭気選別作業を4回以上行なうこととするが、状況により、実施回数の調整を行なうことがある。

- ゼロ回答の場合も3mライン内での一切の声符、視符を禁止する。
- 複数回のゼロ回答を行なうこともある。
- この結果については、○×表示を原則として行なうが、状況によって行わない場合もある。

◎ 決勝戦

選別作業を行ない、その成績によって順位決定をする。

- 移行臭は、靴下、肌着類とは限らず、さらに移行時間等の調整を行なう。
- Ch決定戦は、状況により予告をして、犬及び指導手の態度を減点の対象とすることがある。
- 上位3頭以内に同点があった場合は、複数の審査員により、順位が決定するまで競技を行う。
- その他は、Ch決定戦選出作業に準じて行なう。

臭気選別競技得点表

○○○	100.0
×○○○	90.0
××○○	60.0
×××○	30.0
××××	0

※ 競技会規定に従い厳正公平に審査をいたします。判定に対しては、何人も異議を申し立てることはできない。ただし、根拠のある意義に対しては、審議を行うものとする。正当な理由のない申し立てについては、賞罰委員会の審議の対象となる場合があります。